

美ら島沖縄

～ちゅらしまおきなわ～

JANUARY
2019
vol.520

今日のPICK UP

読者
プレゼント

抽選で計10名様に!

※P18をCHECK

世界に広がる 「うちなーむん」

いいそーぐわち
でーびる



さらに詳しい内容は/
P10をCHECK!

特集
1 「沖縄県」この一年

特集
2 今年でなんと300年。
「組踊」をご存知ですか?



年頭の御挨拶

はいさい、ぐすーよー ちゅううがながびら
新年、明けましておめでどうございませう。

県民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私が知事に就任してから、早くも三ヶ月が経過しました。この間、様々な公務を行う中で、県政を預かる責任の重さを改めて実感しているところであります。

二〇一九年も、県民の皆様への御期待に添うべく、沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づく各種施策を展開し、沖縄の振興、課題解決に向けて全身全霊で取り組んでまいります。

県政運営にあたっては、次の三つの視点から諸施策に取り組みたいと考えております。

一つ目は、「新時代沖縄の到来」の視点です。

沖縄県は、三年後に復帰五十周年を迎えます。新時代沖縄の到来に向けて、好調な沖縄県経済を更なる発展につなげるため、二〇二〇年三月に予定されている那覇空港第二滑走路の供用開始を見据えた航空路線誘致を促進するとともに、那覇空港に完成した航空機整備施設を活かし、航空関連産業クラスターの形成などを目指します。

沖縄の地理的優位性を活かし、アジアの活力を取り込み、スケール感とスピード感をもって様々な施策を推進してまいります。

二つ目は、「誇りある豊かさ」の視点です。

私は、ウチナーンチュウが受け継いできた祖先(ウヤファーフジ)への敬い、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添うチムグクル

は、沖縄文化の根底をなすものと考えています。県民同士に負担を付け替えたり、新たな犠牲を強いることなく、県民が心を一つにすることによって、誇りある豊かさを手にすることができるとの思いです。

私は、飛白者の精神に基づき、辺野古の新基地建設に反対し、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を政府に求めてまいります。また、適量な基地負担の軽減を図るため、基地の整理縮小をはじめ、日米地位協定の技術的な見直し、米軍人軍属による事件・事故など基地から派生する諸問題の解決に全力で取り組んでまいります。

三つ目は、「沖縄らしい、優しい社会の構築」の視点です。

私は、「自立」、「共生」、「多様性」の理念のもと、全ての人の尊厳を守り、多様性や寛容性を大切にしたい、誰一人取り残すことのない社会づくりを目指します。

なかでも、子どもの貧困対策を最重要政策に掲げ取り組むとともに、人々を魅了してやまない沖縄の文化を存分に生かし、自然環境の保全や教育、福祉、医療等の各分野の施策展開を通して、「沖縄らしい、優しい社会」を実現してまいります。

県民の皆様におかれましては、引き続き県政への御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとって良い年となりますよう心から祈念いたします。

くどうしん ゆたさるぐどう うにげーさびら

(今年も よろしくお願いいいたします。)

平成三十一年一月一日

沖縄県知事 玉城 デニー



CONTENTS

- 02 年頭の御挨拶
- 03 県政日誌
- 04 特集1 「沖縄県」この一年
- 06 特集2 今年でなんと300年。「相麻」をご存知ですか?
- 08 県の動き① サッカーキャンプ&プロ野球キャンプ シーズン到来!
- 09 子どもたちの明るい未来のために 地域を支える子どもたちの育ちと学び
- 10 シーラー先生が教える「世界とつながる講座 世界に広がる「うちなーもん」」
- 12 県の動き② 第9回 沖縄平和賞
- 13 沖縄21世紀ビジョン～沖縄の新たな挑戦～ 航空関連産業クラスターの形成について
- 14 情報ひろば
- 16 県の動き③ 障害のある人もない人も共に働きやすい職場環境づくり 沖縄県障害者雇用推進企業登録制度 (ワークわく!おーきなわ)のご案内
- 17 英語でまち案内 本部町



県政日誌

11月

- 16日 第1回沖縄県民協約審議会
飯高道正知事、佐藤民夫会長
- 17日 第42回国体青森県代表選考会
れいわ及びりゅうぎょう(～18日)
- 19日 糸島市長上原昭功が、玉城知事を表敬
- 20日 那覇県管理組合11月議会(定例会)
世界経済人大会相模委員会 会長 キム・デヒョン氏が、富川副知事を表敬
高崎市参事・特別助産師等派遣式
第27回県力促進表彰沖縄県民大会
第7回同僚経済同友会大会
おきなわ陸上五輪、アビリンピック 2018 受賞者授賞式



第42回全国青森県選考(東京都庁内)おきなわ行事及び式典行事 (11月17日)

- 22日 駐日ニカラガ大使ロドリゴ・コロネル・キントロ氏が、玉城知事を表敬
- 22日 児童養護施設美さこ児童館、県立美里高クラブで、玉城知事を表敬
- 23日 離島めぐり2018
緑の青森祭
中部広域市町村圏事務組合設立30周年記念式典及び県上広域市町村圏との広域交流30周年記念式典
第70回沖縄県民体育大会総合開会式
平成30年度アジア経済戦略検討推進・検証委員会設置
経済部長 松本 純彦氏が、玉城知事を表敬
- 24日 FOC 協議「J」の締結及び「J」関係報告会
県議会11月定例会開会(12月20日定例会 24日開)
- 26日 キヤサリン・ジーン・ファン・シヤア氏が、玉城知事を表敬
- 27日 沖縄クルーズカンファレンス
沖縄県大交際会2018
JICA(スウェーデン)航空CEOパネラー・パスカル・バティ氏が、玉城知事を表敬



FCO 総評 22月6日及び23日開催報告会 (11月20日)



イクスベディア
ホールディングス株式会社
との連携推進絆結式
(11月20日)

- 29日 エクスベディアホールディングス株式会社との連携推進絆結式
東京沖縄県人会 会長 仲村 健雄氏が、玉城知事を表敬
- 30日 第46回青年学生代表者全国交流会
沖縄子どもの未来県民会議への寄付金贈呈式(沖縄県総合福祉保健福祉株式会社)

December 12月



北方領土の作文センター4表彰式(12月3日)

- 3日 沖縄県経営者協会創立60周年記念式典
北方領土の作文センター4表彰式
- 9日 第52回沖縄県保育士協会総大会
- 14日 駐日ベルギー大使 ハロルド・フォールサイト氏が、玉城知事を表敬

沖縄の人口・世帯の動き

総人口 144万9,414人
※前月比1,313人増

世帯数 59万3,964世帯
※前月比1,033世帯増

平成30年11月1日現在

県の重要な行事は
ホームページでご覧いただけます。

沖縄県 県政トピック [検索](#)



本号の電子Book版とバックナンバーは
ホームページでご覧いただけます。

美ら島沖縄 [検索](#)



美ら島沖縄の設置場所

沖縄ファミリーマート、モレド4番店舗で無料配布しています。また、公共機関や旅行、病院など多くの方がご利用する施設でもご覧いただけます。郵送設置も受け付けておりますので関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全県向けの戸別配布は致しません。ご了承ください。

沖縄県知事公室広報課

☎098-866-2020

Twitter [@okinawa_prof](#)

沖縄県庁広報課
公式ツイッター

身近な話題なども随時つぶやいています!



「沖縄県」 この一年

4月				
2a	2a	1a	1a	1a
選挙管理 一部別知事交代	県内で新しい「はしがき」先行、外国人観光客から感染が拡大し「ゼロ」を目標、観光へも影響	「沖縄県の現状」に関する条例を施行	国が健康夜明けと県と自治体の共同宣言を公表	沖縄県内初の老舗心療内科施設が開業

3月				
31a	28a	27a	14a	13a
自治体の協定調査中間報告書公表	第7次沖縄県民生活計画の策定	天皇皇后両陛下による沖縄県地方事情視察旅行を完了	沖縄県MICEプロモーション発表	沖縄県の基盤問題に関するシンポジウムを開催

1月		
30a	17a	5a
沖縄県総合行政情報連携ネットワーク構築記念式典	知事による南大東村及び北大東村への知事行政視察	東高利専攻式徳トンネル起工式



5/23

「デビューから25年にわたる輝かしい活躍は、県民に大きな夢と感動を与えてくれた」と敬語の安全祈美恵さんに対し、副知事から賞状授賞式が贈られました。



4/14

琉球馬術の出場数量の拡大や、その魅力を県内外に発信するために、県と郡市が共催による「第1回琉球フェスタ」が開催されました。



3/27

天皇皇后両陛下が約4年振り以来乗馬され、沖縄県民を喜ばせた。沖縄競馬会事務局での御乗馬や日本競馬の地である与那国島への訪問、昨年開催した沖縄空手大会などを御視察されました。



10/4

副知事の急逝に伴い、9月30日に副知事選挙が実施され、10月4日、玉城デニー副知事が就任し、初登壇されました。



10/1

八重山地域の新たな中核病院として、医療需要の変化や大災害にも対応できる機能を備えた新築八重山病院が石重空港跡地に新築移転され、10月1日に開院しました。



9/23

モノレール相模原駅周辺地区に都営バスターミナル、複合図書館、グリップセンターなどを、沖縄観光情報センター等が入居するカフーン相模原(A地区)が完成し、竣工式典が開催されました。

10月			
1a	1a	1a	1a
新築八重山病院開院	都営バスターミナル2階に、新たに「沖縄観光情報センター」を開設	こども医療費減免料を削減	ひとり親家庭の高校生を対象に、バス通学費用助成開始

9月			
25a	23a	6a	4a
明治50年記念平成30年度全国警察柔道選手権大会が50人個人戦70kg級において、赤澤麻由選手が優勝初優勝	カフーン相模原(A地区)竣工式典	平成31年度全国高等学校総合体育大会3000日前カウントダウンイベントを開催	沖縄県市モノレール軌道町連絡バス開業

8月		
31a	26a	15a
都天能代執行時代移住推進事業に係る公有水面埋立承認の取消し撤回	沖縄県、九州特別自治県、ハワイ州及び海南省の4地域でグローバルグリーンアイランドサミットフォーラムを沖縄県外県自治体にて開催し、共同宣言を署名	今期の県産モズク生産量が1万トン超え、11年ぶりの豊作

8月に、「沖縄の心をひとつ」を掲げ、沖縄県政をけん引した翁長雄志知事が急逝されました。米軍基地問題では沖縄の苦しみと訴え、子どもへの貧困にかかる募金の設立に尽力し、経済振興等にも邁進されました。

9月には、沖縄県知事選挙が実施され、玉城デニー副知事が誕生しました。玉城知事は、「新時代沖縄の到来」、「誇りある豊かさ」、「沖縄らしい優しい社会の構築」の3つの視点をあげ、経済や文化、教育、福祉、保健医療、農林水産業の振興、安心・安全な県土づくり、基地問題など、全ての分野の課題に全身全霊で取り組んでいくと語り、新たな歩みを力強く進めていく年となりました。

8月					7月					6月			5月			4月				
14a	13a	8a	2a	1a	27a	24a	24a	18a	9a	7a	1a	26a	11a	5a	23a	15a	1a	27a	14a	
会長就任式	全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で取りまとめる。政府に提出	全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で取りまとめる。政府に提出	全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で取りまとめる。政府に提出	全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で取りまとめる。政府に提出	第1回沖縄空手国際大会を開催（8月7日）	ブラジル・アルゼンチン・ボリビア沖縄県人会110周年記念式典	議長知事が急逝	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ	議長知事との関係の明れ



8/13

8月8日にご急逝された議長知事の偉業などを記してご追悼のお事が、掲げに立ち寄りました。正堂玄閣前には多くの関係員、関係が集まり、追悼の祈りを告げました。



8/2

富川副知事を団長とする訪問団が、ブラジル・サンパウロプロアレーリョス空港に到着した際、ブラジル沖縄県人会施設代表者会長の歓迎を受けました。



8/1

第1回沖縄空手国際大会を開催。50の国と地域から延べ約3,200名が参加し、世界中の空手愛好家が交流を図るとともに、沖縄空手の技や平和の証である精神性を学びました。



7/27

議長知事は、辺野古新基地建設に係る公有水面埋立承認の取消し（撤回）に向けた「撤収手続」を開始することを表明しました。（議長知事、最後の記者会見となりました。）



11/11

玉城知事は訪米し、沖縄県の重要な観光資源の現状等について説明、対話をとおして、米軍基地問題の解決に向けた理解と協力を求めました。



11/2

県から過去最多の139名が出場し、技術古橋で18名、全国アジアンピックで9名と、ともに本県過去最多の入賞者となりました。



10/23

沖縄平和賞は、平和を希求する沖縄の心を世界に発信するとともに、国際平和の創造に貢献することを目的として創設され、第9回は日本国際ボランティアセンターへ贈賞しました。



10/9

議長知事は元沖縄知事の功績を讃え、その遺徳を偲び、冥福を祈念するため、県民葬を執り行いました。

12月					11月					10月										
15a	29a	21a	21a	15a	11a	8a	2a	2a	2a	28a	26a	25a	23a	19a	9a	7a	7a	5a	4a	
沖縄県立図書館が「カーブナ開帳」を先取り実施	沖縄県立図書館が「カーブナ開帳」を先取り実施	沖縄県立図書館が「カーブナ開帳」を先取り実施	沖縄県立図書館が「カーブナ開帳」を先取り実施	沖縄県立図書館が「カーブナ開帳」を先取り実施	議長知事が訪米（11月6日）	議長知事が訪米（11月6日）	議長知事が訪米（11月6日）	議長知事が訪米（11月6日）	議長知事が訪米（11月6日）	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催	「第26回全国かなまきづくり大会」を開催

今年でなんと300年。

「組踊」をご存知ですか？



「組踊」って、

「組踊」は「くみおどり」と読みます。「組」の字が入っているので、舞踊やダンスを思い浮かべがちですが、組踊は「お芝居」の一種です。ですので、舞台という仕切られた空間に、登場人物が出てきてセリフを語り、楽器や歌による演奏を交えながら、喜びや悲しみ、時には笑いも含んだ下ネタを演じ、ひとつの物語を紡いでいきます。

「組踊」は、シエークストリアや歌舞伎ほどではありませんが、それでも300年の歴史があるお芝居です。カヌラも飛行機もない時代、玉城朝薫がたまへすくくおふゆんをこの王府の役人が、大陸や本土の芸能から色々学び、当時の沖縄が持っていた「わらわ」をかき集め、知恵を絞って工夫を凝らして「半藤巻」の口出しなのが組踊です。

「組踊」はまた、「沖縄の伝統芸能」が凝縮されているとも言われます。組踊のストーリーは、沖縄の古い言い伝えをもとにし、セリフは沖縄の言葉により、沖縄独特のリズムにのって語られます。言葉も「おふゆん」三股をはじめとする美園にのみ演奏

されるのは、沖縄の歌と曲です。そして演じた方は、紅型をはじめとする衣装をまとい、琉球舞踊をもとにした優雅な身振のこなしにより、登場人物の動きを表現します。

沖縄の人々は、この組踊に長年親しんできました。もともと琉球王府の役人たちが、中国からの大切なお客をもてなすためにつくられた組踊は、やがて首里城を飛び出し、離島をさむらい各地に広がりをもせ、地域の「お芝居」としても定着しました。また、比較的あたらしい時代にくみられた沖縄芝居や舞踊も、組踊をトーンダウンしていわれたいです。

このように、沖縄の先人たちの英知の結晶であり、きゅつと沖縄らしさが詰まっています。そして沖縄の人々に長く親しまれてきた「組踊」を、もしあなたがまだ知らない、あるいは何となく敬遠してしまっているのなら、ぜひぜひ楽しんでみてください。少し、組踊に触れてみようかなという気持ちにならなされたらどうでしょうか。次は、組踊を楽しむの「し」をお伝えします。



沖縄伝統芸能の殿堂「国立劇場おきなわ」大劇場

「300年目は知らずじを知る」です。国立劇場おきなわなど、字幕が表示される劇場もありますが、そうした設備のない舞台も少なくありません。あらずじを事前に頭に入れておくことで、物語の展開を追いやすくなります。あらずじは、その演目のチラシに書かれていることもありません。また、インターネットで調べものも「300年目」として「300年目」として、これも事前を知っておいた方がいいことですが、相簿の「約束事」があります。この約束事により、観る人の想像力を活用することができ、舞台セット以上の豊かな場面を描き出すことができます。例えば相簿では、舞台の上を半周、または一周することで「長い距離を移動した」ことを表現します。また、再会の

「相簿」を楽しむために

「相簿」を楽しむには、少しだけコツがいります。逆に言うと、いくつかのポイントを押さえれば、ぐんぐんと相簿が身近になり、舞台を満喫することができそうです。ここでは、300年のコツをお伝えしたいと思います。

1「300年目は知らずじを知る」です。

国立劇場おきなわなど、字幕が表示される劇場もありますが、そうした設備のない舞台も少なくありません。あらずじを事前に頭に入れておくことで、物語の展開を追いやすくなります。あらずじは、その演目のチラシに書かれていることもありません。また、インターネットで調べものも「300年目」として「300年目」として、これも事前を知っておいた方がいいことですが、相簿の「約束事」があります。この約束事により、観る人の想像力を活用することができ、舞台セット以上の豊かな場面を描き出すことができます。例えば相簿では、舞台の上を半周、または一周することで「長い距離を移動した」ことを表現します。また、再会の

舞れ舞う鬼女と鬼たちとの攻防が見せ場の一つ「執心鎮入」

喜びを大きめに抱き合ったりするのではなく、とても控えめな方法で表現したりします。相簿にはこうした約束事がいくつもあります。日本芸術文化振興会が作成した文化デジタルライブラリーというホームページがあり、相簿の約束事を詳しく解説しています。動画もありとてもわかりやすいので、ぜひご覧ください。

300年のコツは、会場との一体感を楽しむことです。相簿はお芝居ですので、基本的には劇場という空間に、大勢の人が集まり、みんな同じ方向を向き、同じ物語を観ていきます。おしやべりを控えた方がいいですが、感嘆して思わず涙が出る声や、素晴らしい演技や、盛り上がった場面に対する拍手を、いつもより少し大きにすることを心がければ、会場と舞台に一体感が生まれ、あなたの感動をより高めてくれるでしょう。

2019年は相簿の一年！

2019年は、「相簿」が首座で初めて上演されてから300年目を迎えます。これを記念し、相簿の持つ魅力や意味を捉え直し、先人の功績をたたえ、次の世代につないでいくため、多くのイベント、事業が企画されており、普段の年より多くの相簿が上演され、皆さまの目に触れることになるでしょう。相簿上

演300年記念イベントが一新できるホームページを準備しています。ぜひ「相簿300年」のキーワードで検索し、アクセスしてください。相簿を大切にすることに繋がります。この機会にぜひ相簿に接してはいかがでしょうか。



火を吹く大蛇が登場する「孝行之巻」(写真3枚は全て国立劇場おきなわ 提供)

※実行委員会HP： <https://kumido100.okinawa/>

問い合わせ

文化振興課 電話：098-866-2768 FAX：098-866-2122

サッカーキャンプ & プロ野球キャンプ シーズン到来!

1月からは、サッカーキャンプ!

1月Jリーグをはじめとするサッカーキャンプが北は本部町から、南は石垣島まで県内全域で実施されます。2018年春には、J1からJF1、なでしこリーグと韓国、中国、大学まで様々なカテゴリーの計24クラブ



初めての沖縄キャンプとなったペラルタ台のサッカー教室



沖縄サッカーキャンプ2019
専用WEBサイト
<http://soccer-camp.okinawa/>



プロ野球沖縄キャンプ2019
専用WEBサイト
<http://www.okinawabaseball.com/>



プロが県内でキャンプを実施し、キャンプ地は大いに賑わいました。今年は、新たな取組として、沖縄サッカーキャンプのガイドブックを作成し、モノレール駅、コンビニエンスストア、キャンプ地などに配布予定です。ぜひ、ガイドブックを手に取り、近くのキャンプ地に足を運んでみてはいかがでしょうか。

2月からは、プロ野球キャンプ!

2月、プロ野球キャンプは、北は国頭村、南は石垣島まで県内全域で実施されます。2018年春には、日本9球団、韓国6球団の計15球団が県内でキャンプを実施しました。

昨年に引き続き、今年も那覇空港2階にプロ野球沖縄キャンプブリス「めんそーれパーク」を設置し、各球団のユニフォーム展示やプロ野球沖縄キャンプガイドブックの配布を予定しています。キャンプ地を訪れるほか、空港では、ぜひ、「めんそーれパーク」に立ち寄り、プロ野球沖縄キャンプを楽しんでいただきたいです。

経済効果の推移

プロスポーツキャンプでは、多くのファンやメディアがキャンプ地を訪れ、地域の活性化や大きな経済効果を生み出しています。2018年春の経済効果は、サッカーキャンプで約20億円（前年比+約8億円）、プロ野球キャンプで約123億円（前年比+約13億円）と好調を推移しており、今年は更に、元スペイン代表のJ1ウィングス神戸所属アンドレス・イニエスタ選手やJ1サガン鳥栖所属フェルナンド・トリス選手などが県内でキャンプ予定です。更なる賑わいが期待されます。

また、キャンプ期間中に行われるスポーツ教室では、技術の向上だけでなく、児童生徒に夢や希望を与えており、アスリートキャリアの構築にも大きく寄与しています。

沖縄県では、サッカーキャンプ、プロ野球キャンプともに専用のWEBサイトを公開し、随時情報発信していきますので、ぜひこちらも活用いただければと思います。



那覇空港2階「めんそーれパーク」

問い合わせ

スポーツ振興課 電話：098-866-2708

FAX：098-866-2729

子どもたちの 明るい未来のために

～つながり、皆で育む～

県では、全国に比べて特に深刻な沖縄県の子どもの貧困問題に対応するため、国、市町村等と連携して、社会の一番の宝である子どもたちの健やかな成長と学びを地域で支える取組を行っています。(参考：子どもの貧困率 全国13.9%、沖縄県29.9%)

連載第1回目は市町村が配置・設置している子どもの居場所と支援員を紹介します。

1. 子どもの貧困対策支援員

沖縄県内には、行政などの支援を受けられるにも関わらず、サービスを知らなかったり、手続きを行う余裕がない子どもや大人が大勢います。市町村に100人程度配置されている支援員は、そのような人たちのために、学校や家庭、地域に出向いて、悩み事の相談や支援サービスへのつなぎなどを行っています。



2. 子どもの居場所

子どもの居場所とは、家庭・学校以外で放課後や休日に、地域の大人や友達と一緒に食事を作って食べたり、勉強したり、創作・体験活動等を行うことができる場所のことで、県内ではおよそ130カ所で活動しています。多様な体験や大人との関わりによって、子どもたちが楽しく安心して過ごせるような配慮をしながら、地域づくりとしても子どもたちを応援する取組が行われています。

運営のお手伝いや食材等の提供を募集している居場所もありますので、ご協力可能な方はお近くの市町村にお問い合わせください。



問い合わせ

子ども未来政策課 電話：098-866-2100 FAX：098-868-2402

広告